

平成 28 年度 改定版

所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略



所 沢 市

目次

1. 所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略について	1
(1) 目的	2
(2) 位置づけ	3
(3) 将来的に目指すまちの姿	4
(4) 基本的な考え方	6
2. 重点プロジェクト	7
(1) 「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進	8
(2) 「産業用地創出」による産業振興	10
(3) 「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化	12
(4) 「水とみどりがつくるネットワーク」の構築	14
3. 戦略方針	17
(1) まちの魅力をUP	18
その1 まちの魅力をさらに高める	19
その2 まちの魅力を発信する	20
その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう	21
(2) 産業の力をUP	22
その1 産業基盤を整備する	23
その2 経営基盤を安定・強化させる	24
その3 雇用を創出し、就労支援を充実する	25
(3) みんなの安心をUP	26
その1 子どもの育ちへの支援を充実する	27
その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる	28
その3 子どもと“みんな”がつながる	29
(4) 暮らしやすさをUP	30
その1 地域の絆づくりを大切にする	31
その2 快適な交通環境を提供する	32
その3 保健医療体制を充実する	33
4. 資料	35
国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び	
「第5次所沢市総合計画後期基本計画」との関連性	36
「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針	37
■コラム 「(仮称) ところざわサクラタウン」	9
所沢の魅力「みどり」	16
所沢の魅力「文化」	34

1.所沢市

まち・ひと・しごと創生 総合戦略について

- (1) 目的
- (2) 位置づけ
- (3) 将来的に目指すまちの姿
- (4) 基本的な考え方



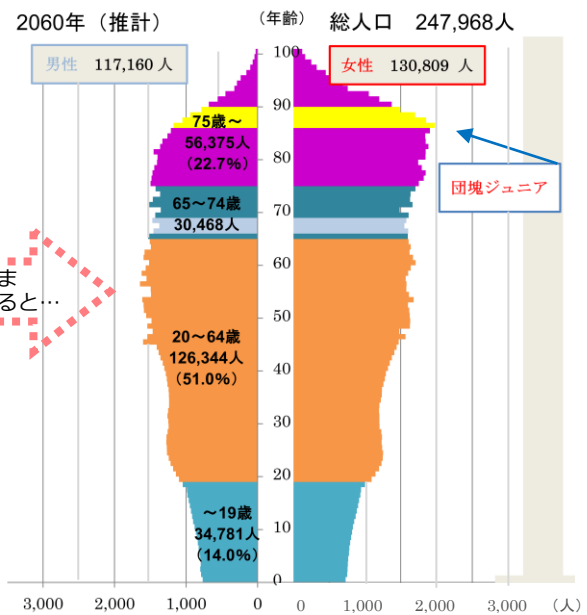
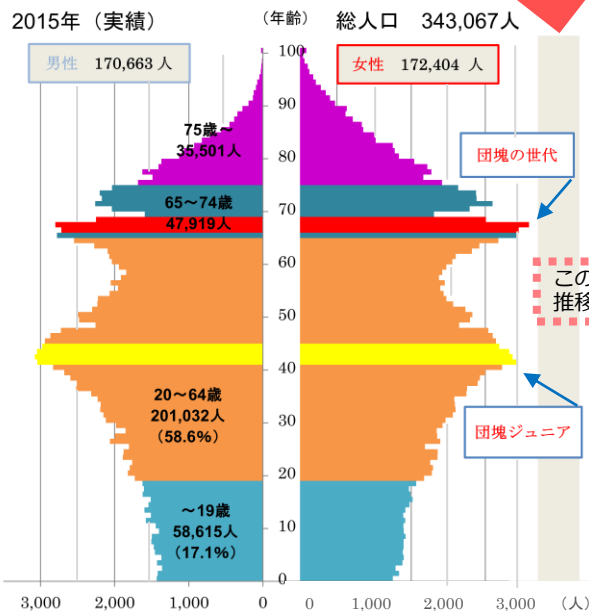
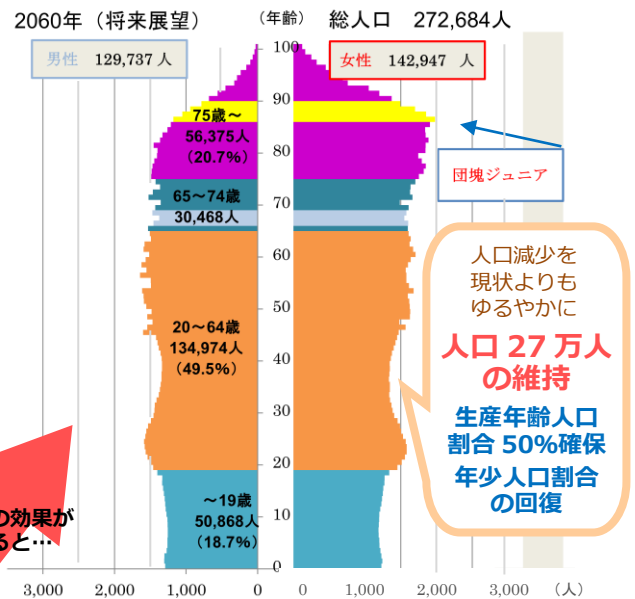
所沢市イメージマスコット
「トコロん」

(1) 目的

日本全体の問題となっている少子高齢化*の流れの中で、地域の担い手・働き手である若者の減少や地域のにぎわいの縮小などの問題が顕著となっており、自治体が生産年齢人口*の確保を図ることは共通の大きな課題となっています。

生産年齢人口の確保を促進するためには、自治体を持つ強みと弱みを把握し、強みを有効活用・発信するとともに、弱みを克服できる方策を考えることが重要です。そのためには、自治体が置かれている状況を十分に把握し、状況に合った独自の施策を展開すること、そして自治体を持つそれぞれの個性を明確にすることが必要です。

「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「所沢市総合戦略」）は「しごと」と「ひと」の好循環、それを支えるまちの活性化につながる本市独自の施策を展開し、個性を明確にすることで、人口流入や活発な経済活動を生み出し、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラル（悪循環の連鎖）に陥らないようにするため、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案した上で、人口の急激な減少の抑制と地方創生に取り組むことを目的とします。



出典：「所沢市人口ビジョン」

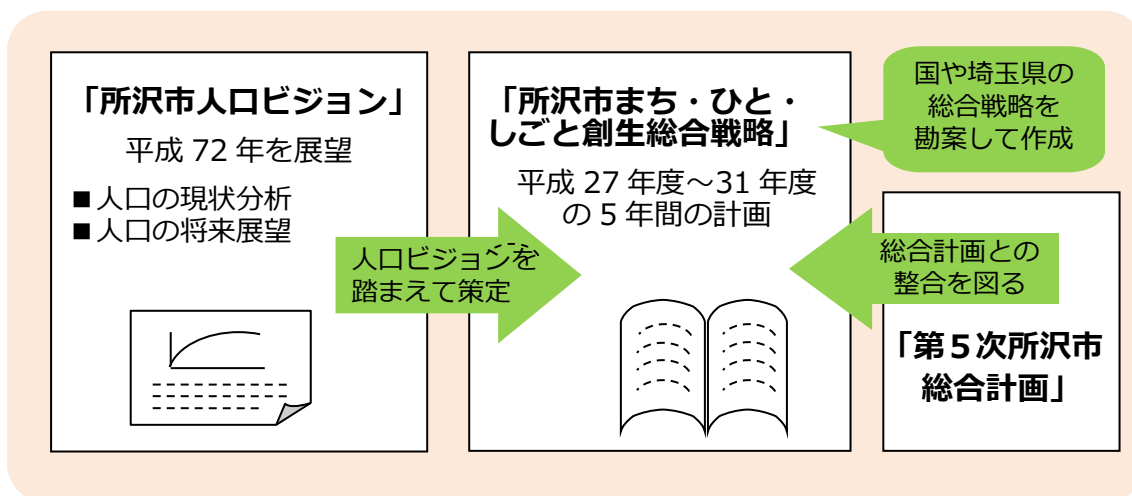
* 少子高齢化…出生率が低下する一方、平均寿命が伸びたことによって、人口全体に占める子供の割合が低下し、高齢者の割合が高まること。

* 生産年齢人口…人口統計で、生産活動の中心となる15歳以上65歳未満の人口。

(2) 位置づけ

① 「所沢市総合戦略」・「所沢市人口ビジョン」・「第5次所沢市総合計画*」の関係性

「所沢市総合戦略」は「第5次所沢市総合計画」との整合性を保つことを前提としたうえで、喫緊の課題である人口問題に対応し、地方創生を推進していくため、「所沢市人口ビジョン」を踏まえ、本市の最上位計画である「第5次所沢市総合計画」や各種個別計画等をより進化させ、さまざまな取組のスピードアップを図るものとして、今後5年間の重点プロジェクト及び「人口の将来展望」実現のための施策の展開についてまとめたものです。



② 計画期間

「所沢市総合戦略」の計画期間は、平成27年度から平成31年度までの5年間とします。

③ 「所沢市総合戦略」の進行管理

「所沢市総合戦略」の取組を効果的に推進するため、戦略方針に対する戦略指標を立て、戦略方針に対する基本目標、取組に対する「重要業績評価指標 (KPI)*」を設定したうえで、その達成度や外部有識者等の意見等により効果を検証し、PDCAサイクルによる進行管理を行います。

戦略の成果に対する継続的な評価・見直しを行うことによって、目標を達成するための課題を明らかにし、その結果を踏まえた効果的・効率的な財源配分や事業選択を行います。

また、「所沢市総合戦略」は、社会情勢の変化などにより必要が生じた場合には、見直しを行います。



* 第5次所沢市総合計画…平成23年度から平成30年度までの本市のまちづくりの方向性とその実現に向けた施策等を示した市の最上位計画。

* 重要業績評価指標 (KPI) …目標の達成度合いを検証するための客観的な指標。

(3) 将来的に目指すまちの姿

① 「魅力にあふれ、活力ある経済活動の中で安心して暮らせるまち」を目指して

「所沢市総合戦略」の計画期間は、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間としていますが、これは所沢市が 30 年後、40 年後といった中長期的な将来に目指す姿を前提として、直近の 5 年間に進める施策を示しているものです。

「所沢市人口ビジョン」では、本市の「目指すべき将来の方向」として、みどりと文化・にぎわいなどの「魅力」、産業振興・雇用の確保などの「元気」、家族や子どもとの安らぎのある暮らしなどの「安心」の 3 つの要素を掲げています。



所沢市総合戦略では、これらの要素をキーワードとして戦略方針を定め、さらにその中から特に力を注ぐべき重点プロジェクトを示して、全国的に人口減少が進む中でも、“交通利便性が高く災害に強い” “豊かなみどり”等の「所沢の強み」や「所沢らしさ」といった地域の特性を活かした元気な経済活動を維持しながら、確実に行政運営を進めることで、市民が安心して暮らせるまちを目指します。

② 今後 5 年間は「魅力」と「元気」に重点を置いて、

「将来的に目指すまちの姿」の土台をつくります

これまで首都近郊都市として成長してきた本市は、人と人の絆の基盤となるコミュニティ活動が活発であること、公共交通の利便性が高いこと、地質的に武蔵野台地*の比較的堅く良好な地盤によって災害に強いことなど、「安心」の要素が優れています。

一方、「魅力」や「元気」については、優れた潜在能力があるものの、都心に近い立地であることから、都内の商業施設や観光地に、その役割の一部を預けてきた面があります。

人口の東京一極集中が止まらず、地方の人口減少が進む中で、本市が「魅力にあふれ、活力ある経済活動の中で安心して暮らせるまち」であり続けるためには、本市の潜在能力を十分に活かし、周辺自治体と連携しながら、広域的な地域としての「魅力」「元気」「安心」がバランスよく作用していく必要があります。

そこで、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間は、「安心」につながる取組を確実に実行する中で、本市の「魅力」を磨き、また新たな「魅力」を発見することで、これまで以上に活発な人の流れを生み出すとともに、地域産業の活性化や雇用創出など、「元気」なまちづくりを進めることに重点を置いて、「将来的に目指すまちの姿」を実現するための土台をつくります。

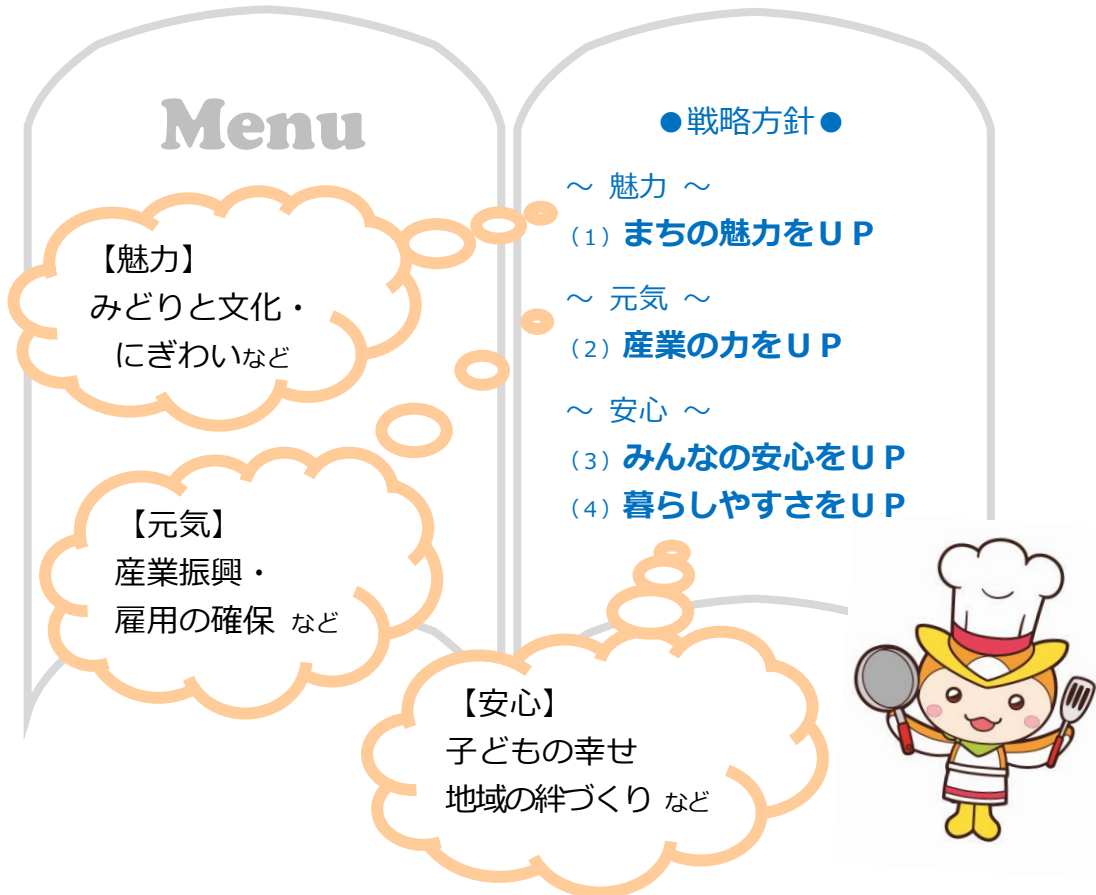
* 武蔵野台地…関東平野西部の荒川と多摩川に挟まれた地域に広がる面積 700 km²の台地。

③ 4つの「戦略方針」と4つの「重点プロジェクト」

所沢市総合戦略を展開するうえで、「魅力」「元気」「安心」のキーワードに基づき、施策を体系的に整理して4つの戦略方針（「安心」は2項目）を設定しています。

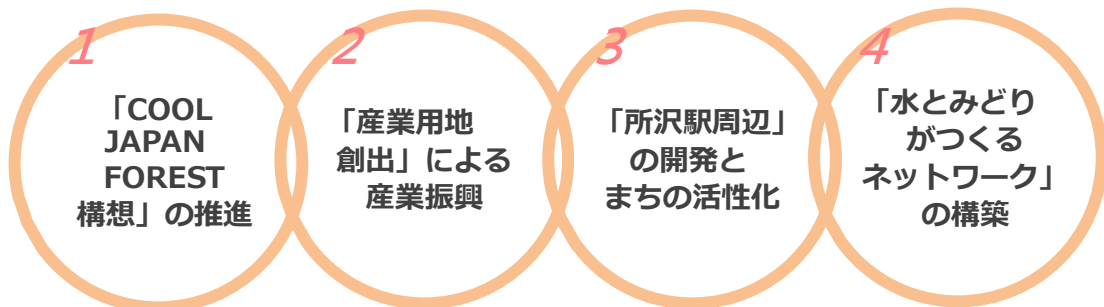
その中でも特に重点を置く4つの施策を「重点プロジェクト」（P7～15）として設定し、優先的に実行していきます。

【戦略方針】



【重点プロジェクト】

5年間で「将来的に目指すまちの姿」を実現するための土台をつくります！！

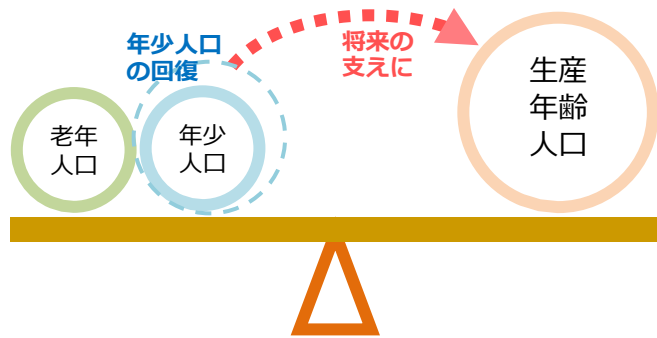


(4) 基本的な考え方

① 「所沢市総合戦略」のターゲットとテーマ

「所沢市人口ビジョン」では、有効な対策を講じない場合において、将来的な人口は平成 72 年（2060 年）には、約 24 万 8 千人（約 72%）になるとともに、少子高齢化が進展していくことが見込まれています。少子高齢社会の中では、社会保障を維持しなければ社会基盤が崩壊するおそれがあり、生産年齢人口に対して、年少人口*と老年人口*の合算が、最低でも 1 : 1 の比率となるよう、将来の支えとなる年少人口の回復を図りながら、生産年齢人口世代への負担を過重なものにならないようにしていく必要があります。

人口における年齢構成の改善と急激な減少の抑制を図り、良好な経済活動と市民生活を維持するためには、「魅力」や「元気」などの、本市が持つ潜在能力を最大限に発揮しながら、人々が「安心」して暮らし、子どもたちをはじめ皆が活躍できるまちにしなければなりません。



そこで、「所沢市総合戦略」では、主なターゲットを、子どもや若い世代、子育て世代とし、明るい未来や幸せを感じ、本市で充実した生活が送れるよう、まずは、まちの活力を引き出すことをテーマとして取組を進めます。

② 「所沢市総合戦略」の基本姿勢

子どもや若い世代、子育て世代にとって魅力的なまちになっていくには、そこに住むだけでなく、働く場所や遊ぶ場所などの多様な機能が備わっている必要があります。所沢で暮らし、働き、結婚を希望する人が結ばれ、子育てし、楽しむことができるよう、「住・職・遊・育」が融合したまちづくりを推進することによって、人々の定住や交流（外から遊びに来る、買い物に来る、働きに来るなど）を促進します。

そのためには、本市がこれまで培ってきた「みどりと文化」の力を最大限に発揮するだけでなく、これまでにない「新しい可能性」の発見に努めることが大切です。

こうした取組を「魅力」「元気」「安心」といったキーワードに整理し、総合的に高めていくことを「所沢市総合戦略」の基本的な姿勢とします。

また、「所沢市総合戦略」の推進にあたっては、まちごとエコタウン所沢構想*の基本理念として掲げている「“人與人”、“人と自然”との絆で、未来と子どもを育む 所沢」の考え方を踏まえ、「未来の子どもたちに残したいまち」へとつながるように、本市の大きな魅力である「絆」や「みどり」を存分に活かし、その魅力をさらに伸ばしていく施策を計画的に実行します。

*年少人口…人口統計で、0 歳から 14 歳までの人口。 *老年人口…人口統計で、65 歳以上の人口。

*まちごとエコタウン所沢構想…東日本大震災後の社会情勢の変化を捉え、資源・エネルギーに依存したライフスタイルを見直し、「絆」を大切にしながら、次代を担う子どもたちに豊かな自然や持続可能なまちをつくっていくための道しるべとするための構想。

2.重点プロジェクト

- (1) 「COOL JAPAN FOREST 構想」の推進
- (2) 「産業用地創出」による産業振興
- (3) 「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化
- (4) 「水とみどりがつくるネットワーク」の構築





クール ジャパン フォレスト
（1）「COOL JAPAN FOREST構想」の推進

① 概要

「COOL JAPAN FOREST 構想」は、本市と株式会社 KADOKAWA が、共同プロジェクトとして取り組んでいる、文化と自然が共生した、誰もが「住んでみたい」「訪れてみたい」地域づくりを進める構想です。この構想では、民間企業が建設する施設を活用して、行政が周辺環境を整備するとともに、産官共同で事業を展開することで、産業振興や地域の魅力創出につなげていきます。また、株式会社 KADOKAWA が東所沢地域に建設を予定している「(仮称) ところざわサクラタウン※1」を中心に東所沢公園や東川の桜などが一体となり、所沢の魅力である「豊かなみどり」「人々のにぎわい」「元気な産業」が同居する「みどり・文化・産業が調和したまち」を目指します。

さらに、幹線道路や鉄道路線を通じて所沢カルチャーパーク*、狭山湖、三富新田*、所沢駅周辺等の市内の拠点をはじめ、市外の観光拠点等との連動性を高め、国内外から「(仮称) ところざわサクラタウン」を訪れる人々が市域全体に広がり、さらに周辺自治体等の地域全体にも広がるといった、新たな人の流れを生み出していきます。

② 平成 31 年度までの具体的な取組

- ・ 構想策定及び構想実現のための調査分析・事業立案
- ・ 構想の広域的な連動を実現するための基礎調査・分析
- ・ 来場者を受け入れるためのインフラ整備（道路整備、駅周辺の街並み整備）
- ・ 西武鉄道沿線からのアクセスやバス路線・シャトルバス導入の検討
- ・ 構想の浸透を図るための啓発及び情報発信（各種メディアの活用）
- ・ 外国人観光客の受入れ体制の整備（観光コースの設定、案内看板設置等）
- ・ 外国人観光客をターゲットにした観光物産品の開発（狭山茶などの特産品を活かす）

③ 効果

「(仮称) ところざわサクラタウン」等の文化機能が「地域文化を醸成」し、その魅力を「国内外に発信」することで所沢ブランドの浸透とブランド力向上につながります。それらのまちの魅力と産業振興・雇用創出による「地域産業の活性化」との相乗効果により、所沢の潜在能力を活かしながら新たな可能性を引き出します。さらに、みどり・文化・産業が一体となった他には類を見ない空間が、市民をはじめ、国内外から多くの人を呼び込み、市民生活の潤いと豊かさ、まちの楽しさ、活気、新鮮な驚きを生み出します。

魅力	元気
<ul style="list-style-type: none"> ● ブランドイメージ向上 ● 市の魅力発信の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな拠点づくりによる産業活性化 ● 施設における就業による雇用創出

* 所沢カルチャーパーク…雑木林と広大な畑地が広がる武蔵野の景観を残した環境保全や景観保護に留意した公園。
 * 三富新田…江戸時代に川越藩主柳沢吉保により行われた上富（三芳町）、中富・下富（所沢市）の新田開発。

重点（1）

※1 「(仮称) ところざわサクラタウン」

株式会社 KADOKAWA により建設・運営される工場及び文化コンプレックス*
 建設予定地：J R 武蔵野線 東所沢駅から徒歩約 10 分 旧所沢浄化センター跡地
 (東所沢和田 3 丁目 31 番地の 3 及び 11、37,382.42 m²)



COOL JAPAN
 FOREST
 構想のロゴマーク

※ 「(仮称) ところざわサクラタウン」のコラム ※
 構想の拠点となるクールジャパン*の総本山

株式会社 KADOKAWA の出版物等を取り扱う製造・物流施設と、文化コンプレックスを中心に、その他の機能（ショップ、カフェ、イベントスペース、ホテル、オフィスなど）を付加した集客性の高い施設として計画されているものです。東所沢公園や東川沿いの桜と一体となった、市民の憩いの場であり、海外からの観光客にも楽しめるエリアとして、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催までの完成を目指しています。

●文化コンプレックス
 図書館、美術館、博物館の融合した日本初とも言える施設であり、「クールジャパンの総本山」として、アニメ・ゲームにとどまらない日本文化の底力や魅力を発信していきます。

●製造・物流施設
 最新の製造システムによる機器を導入し、工場見学や関連業界からの視察等を受け入れられる施設になります。また、施設全体を多面的な学習の場としても活用していく予定です。

©KAJIMA CORPORATION
 完成予定図(平成 29 年 3 月現在)

「(仮称) ところざわサクラタウン」竣工までのスケジュール

H27	H28	H29	H30	H31	H32
基本設計	実施設計	←← 建築工事 (約 27 カ月) →→			竣工
					(東京オリンピック・パラリンピック)

*クールジャパン…日本独自の文化が海外で評価を受けている現象、またはその日本文化を指す言葉。

（２）「産業用地創出」による産業振興

① 概要

本市が都心から 30km 圏内に位置していることによる産業立地の優位性を活かし、土地利用転換によって産業用地を創出し、地域経済の活性化につなげていきます。

平成 26 年 3 月に改定した「所沢市街づくり基本方針*」において、「三ヶ島工業団地周辺地区」、「松郷工業団地周辺地区」、「関越自動車道所沢インターチェンジ（以下「IC」）周辺地区」を産業系の土地利用転換推進エリアと位置づけ、平成 27 年 3 月には「産業用地創出基礎資料」をまとめ、関係機関との協議を始めています。これにより、市外事業者の転入はもとより、市内事業者の拡大・発展につながる用地のニーズに応え、高速道路や鉄道への優れたアクセス性といった地域の特性に応じた多様な産業と雇用を創出します。

② 平成 31 年度までの具体的な取組

- ・土地利用転換推進エリアの特性に応じた事業計画とするための関係者との協議
- ・事業計画の立案に向けた地権者の合意形成
- ・必要に応じた都市計画変更手続きの実施
- ・企業誘致等の推進

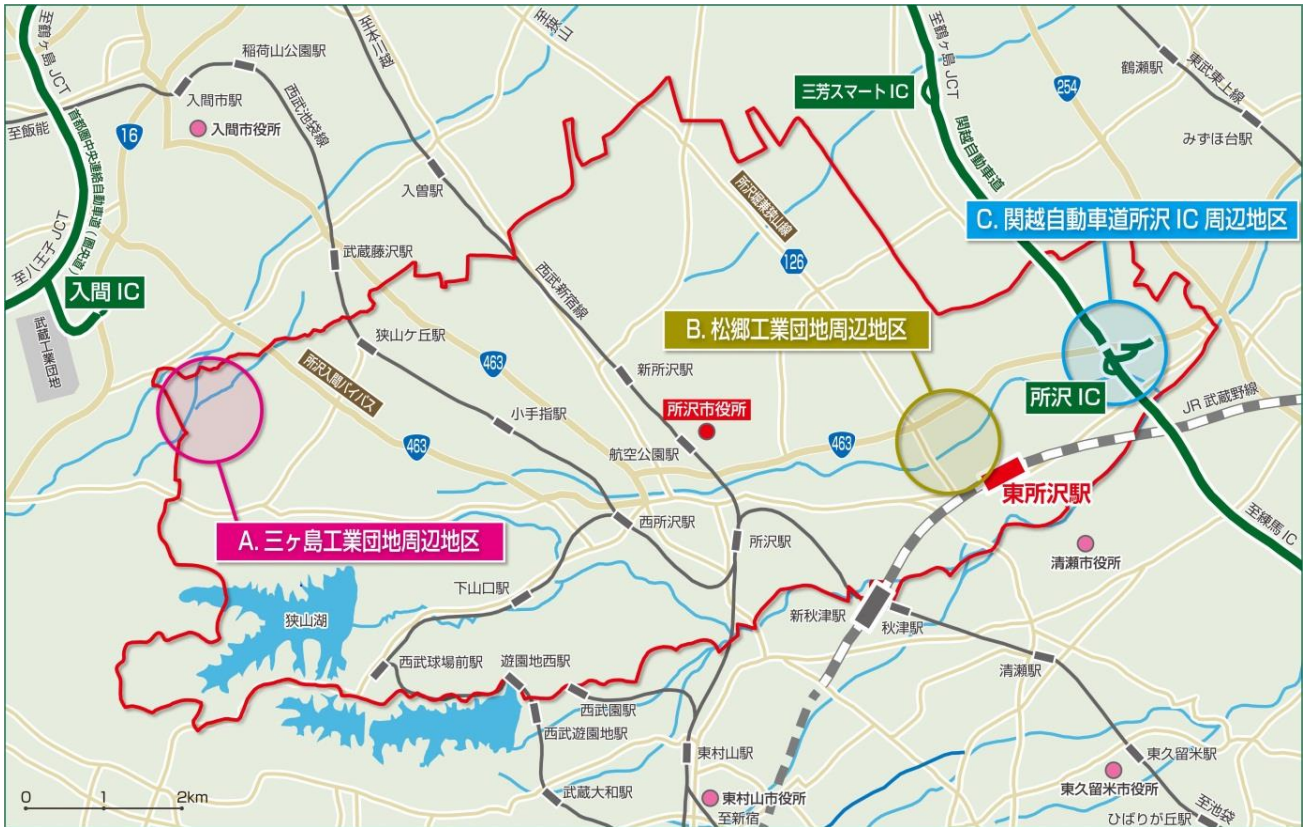
③ 効果

土地利用転換推進エリアとして掲げている「三ヶ島工業団地周辺地区」、「松郷工業団地周辺地区」、「関越自動車道所沢 IC 周辺地区」を新たな産業用地とすることで、地域経済の活性化を促進するとともに、市域全体の経済活動の活発化や雇用を生み出すことができます。

魅力	元気
<ul style="list-style-type: none"> ● 近くで働きやすい街づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな拠点づくりによる産業活性化 ● 雇用創出

*所沢市街づくり基本方針…将来の所沢市のあるべき姿や街づくりの方針を明らかにし、街づくりに対する市民・事業者の理解を深め、各種事業への協力・参加を図り、市民・事業者と行政が協働で街づくりを進めるための計画。

【産業導入を想定する「土地利用転換推進エリア」位置図】



出典：所沢市の工業団地等産業拠点創出と立地意向に関する調査（平成 26 年 12 月）の添付資料

A:三ヶ島工業団地周辺地区	B:松郷工業団地周辺地区	C:関越自動車道所沢 IC 周辺地区
<p>■位置、特徴 市街地内の住工混在*の解消を目的として 2001 年に環境事業団により整備された「三ヶ島工業団地」周辺の地区。圏央道入間 IC、国道 16 号に近接し、住宅地から離れた平坦な農地に広がる。武蔵工業団地（入間市）も至近。</p> <p>■交通アクセス ○圏央道 入間 IC まで車で 5 分 ○国道 16 号まで車で 3 分 ○国道 463 号バイパスまで車で 3 分 ○西武池袋線 狭山ヶ丘駅まで車で 10 分</p>	<p>■位置、特徴 1980 年代の前半に区画整理事業により整備された市内唯一の工業専用地域「松郷工業団地」周辺の地区。国道 463 号、県道練馬所沢線、区画整理事業により整備された住宅地・商業地と近接する。</p> <p>■交通アクセス ○関越自動車道 所沢 IC まで車で 7 分 ○JR 武蔵野線 東所沢駅まで徒歩 10 分</p>	<p>■位置、特徴 市東端に位置し、関越自動車道所沢 IC、国道 463 号、国道 254 号の広域幹線道路が交差する地区。IC 周辺は、卸売市場、民間物流センター等の物流施設が多く立地している。</p> <p>■交通アクセス ○関越自動車道 練馬 IC まで車で 6 分 ○外環道 大泉 JCT まで車で 5 分 ○圏央道 鶴ヶ島 JCT まで車で 12 分 ○国道 254 号まで車で 2 分</p>

* 住工混在…住宅と工場などが混在していること。

(3)「所沢駅周辺」の開発とまちの活性化

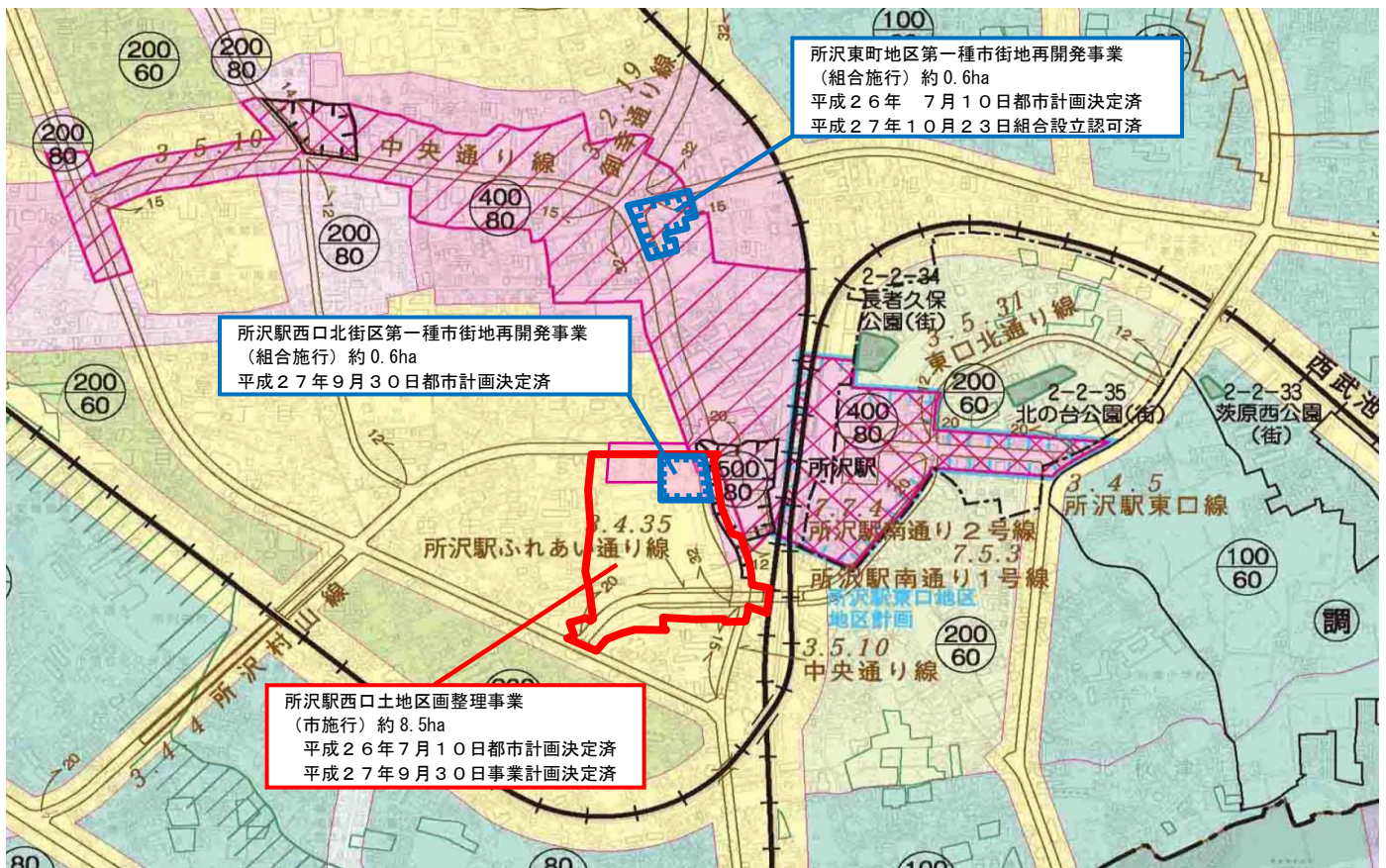
① 概要

本市の表玄関である所沢駅周辺を魅力と活力ある街とするため、所沢駅西口地区において、土地区画整理事業と市街地再開発事業*の一体的施行により、都市基盤整備や計画的な土地利用の誘導による街づくりを行います。

また、所沢駅近接の日東地区における民間活力による都市基盤整備等を進めます。

② 平成31年度までの具体的な取組

- ・所沢駅西口土地区画整理事業の工事着手
- ・所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の工事着手
- ・所沢東町地区第一種市街地再開発事業の工事着手



*市街地再開発事業…市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新とを図るため、都市再開発法に基づいて、建築物及び建築敷地並びに公共施設を整備する事業。

③ 効果

所沢駅を中心とした地区における商業や産業の振興により、市内外からの人の流れが創出され、周辺地域のにぎわいと活力につながっていきます。

また、都市基盤整備を進めることで、中心市街地活性化や音楽のあるまちづくり*などの取組と併せて、大規模商業施設と駅の往復だけでなく、まち全体を楽しむ回遊性の高いエリアとして成熟していくことができます。

魅力	元気
●魅力と活力ある街づくり	●新たな拠点づくりによるにぎわいの創出 ●雇用創出



市内の中心市街地

*音楽のあるまちづくり…音楽好きなまち・所沢をアピールして、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方々に、うるおいと安らぎを与え、音楽でまちが元気になるよう盛り上げていこうとするプロジェクト。※P34 コラム参照

（４）「水とみどりがつくるネットワーク」の構築

① 概要

本市は都心から 30km 圏内に位置しながら、多様なみどりが残っており、特に狭山湖を中心とした狭山丘陵※2周辺は、自然と人間の歴史を通じて雑木林*や谷戸*、湿地といったさまざまな環境が形成され、狭山丘陵を源とする柳瀬川、東川、砂川堀の水辺のみどりに多様な生き物たちが生息しています。また、市の西側には小手指や北中のふるさとの緑の景観地をはじめ、小手指ヶ原古戦場や砂川遺跡、茶畑が広がる風景や谷戸の田んぼなど、所沢の原風景ともいえる武蔵野の面影が色濃く残っています。

この貴重な資源を未来の子どもたちに引き継ぎ、訪れる全ての人が本市の豊かなみどりの恵みを楽しむよう、「水とみどりがつくるネットワーク※3」を構築し、エコツーリズム*や武蔵野のみどりを親しむ体験などを通じて、その魅力を発信していきます。

また、河川や緑地でつながる本市、飯能市、狭山市、入間市による埼玉県西部地域まちづくり協議会や、日高市を加えた西部地域振興センター管轄区域内の 5 市による、地域全体での魅力向上・発信に関する検討に合わせ、周辺自治体、鉄道路線の沿線各自治体など、さらに広域的なエリア（都市圏）や観光動線の視点から関係自治体等との協議・検討を進めます。

② 平成 31 年度までの具体的な取組

- ・里山保全地域や市民の森、三富新田*等のまとまりのあるみどりの保全
- ・狭山湖周辺人道橋などの散策路の整備
- ・「みどりのパートナー」等によるみどりを支える仕組みの充実
- ・「みどりのふれあいウォーク」等の狭山丘陵や武蔵野を親しむイベントの実施
- ・周辺自治体等との広域観光施策の構築に向けた協議
- ・「水とみどりがつくるネットワーク」の構築に向けた計画策定
- ・外国人観光客の受入れ体制の整備

③ 効果

狭山湖や狭山丘陵といった本市の魅力的な水とみどりの資源を、周辺のレジャー施設や中心市街地の商業地域、三富新田などと連携させる取組を行うことにより、人々が地域のみどり・歴史・文化に触れ、感じることで、新たな人の流れが生み出され、その相乗効果として、地域産業の活性化や文化の広域的な交流、都市ブランド向上等の原動力となります。

魅力	元気
●周辺地域も含めた魅力・イメージの向上	●新たな人の流れによる産業活性化 ●広域的な交流推進

*雑木林…木材用でも鑑賞用でもないような広葉落葉樹が（色々と）生えている林。

*谷戸…丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形である。

*エコツーリズム…地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことを目指していく仕組み。

*三富新田…江戸時代に川越藩主柳沢吉保により行われた上富（三芳町）、中富・下富（所沢市）の新田開発。

重点（４）

※ 2 狭山丘陵

狭山丘陵は、埼玉県と東京都の境にある東西約 10km、南北約 4km の紡錘形（円柱状でまん中が太く、両端がしだいに細くなる形）をした独立丘陵です。標高は 194m から 90m、周辺の台地より 50m ほど小高く、衛星写真に写るその姿は、あたかも武蔵野台地の中に浮かぶみどりの孤島にたとえられます。

昭和初期に、当時の東京市は二つの谷をせき止め、山口貯水池（狭山湖）と村山貯水池（多摩湖）を築造しましたが、その西側に水源管理林として手付かずの広大な樹林地が残されました。現在、貯水池の周辺に多くの人々が遠足や行楽に訪れ、また、野生動物や飛来する水鳥たちのオアシスとなっています。



狭山丘陵



狭山湖



埼玉県西部地域の位置図
（※埼玉西部消防組合管内図を引用）

※ 3 「水とみどりがつくるネットワーク」

本市に住み、訪れるすべての人が本市の豊かなみどりの恵みを楽しむことができるよう、核となるまとまりのあるみどりや小さくとも拠点となるみどりを街路樹や河川などの多様なみどりでつなぐことで、みどりの持つ機能が最大限に発揮され、私たちの暮らしに安定した環境や潤いと安らぎをもたらします。そこで、さまざまなみどりが互いにつながる「水とみどりがつくるネットワーク」を構築し、未来に継承できる質の高いみどりとして、さまざまな主体で守り、育てていきます。

＊ 所沢の魅力「みどり」のコラム ＊

狭山丘陵を歩いてみよう

狭山丘陵の景観は、森や林、池や湿地、貯水池など、いずれの場所も「みどり」と人との係わり合いから生まれたものです。

この「みどり」にふれ、開放感の中で景観を存分に楽しんでいただけるよう、市が発行している「ところざわウォーキングナビ」では、「狭山丘陵いきものふれあいの里コース」を紹介しています。

13kmのルート上には、「虫たちの森」「水鳥の楽園」などのスポットや、「トトロの森*」が点在しており、多種多様な動植物と出会うことができます。

また、荒幡富士に程近い「埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター」には、解説員が常駐しており、道標に沿った散策、観察スポットやバルコニーでの観察が楽しめるだけでなく、定期的に自然観察会が開催されています。

皆さんも季節ごとにいろいろを変える丘陵の姿をゆっくり歩きながら体感してみませんか。



狭山丘陵いきものふれあいの里センター



観察スポット
(上山口堀口天満天神社周辺)



保全管理作業

みどりのパートナー 育成講座

「みどりのパートナー」育成講座を開催し、みどりの保全および維持管理に関する専門的な知識を習得し、今後みどりのパートナーとして指導的立場で活躍できる人を育成します。

*トトロの森…公益財団法人「トトロのふるさと基金」が活動のフィールドとする狭山丘陵全体について、市民や企業から寄付を募って美しい自然や歴史的建造物などを買い取り、将来に引き継いでいく運動により、取得された土地を「トトロの森」と呼び、2015年11月までに32箇所「トトロの森」が誕生している。

3.戦略方針



魅力	(1)まちの魅力をUP	その1 まちの魅力をさらに高める その2 まちの魅力を発信する その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう
元気	(2)産業の力をUP	その1 産業基盤を整備する その2 経営基盤を安定・強化させる その3 雇用を創出し、就労支援を充実する
安心	(3)みんなの安心をUP	その1 子どもの育ちへの支援を充実する その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる その3 子どもと“みんな”がつながる
	(4)暮らしやすさをUP	その1 地域の絆づくりを大切にする その2 快適な交通環境を提供する その3 保健医療体制を充実する

魅力

戦略方針 （1）まちの魅力をUP

✧ 基本目標 ✧

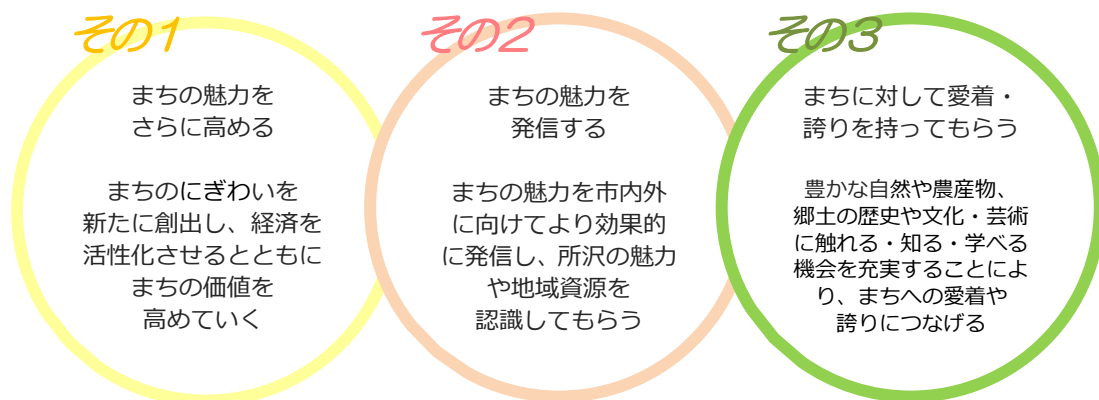
所沢市の魅力を高め、住み続けたいまち、訪れたいまちを目指します

本市は、都心から 30 km に位置しているなかで、豊かなみどりや農産物に恵まれており、都会と田舎が程良く混在した地域です。

このような市域の特性や市が持つ資源を機能・調和・融合させて、「所沢ブランド*」による効果的な PR を進めながら、まちのにぎわいを創出し、経済の活性化を進めます。

また、人と自然と文化が調和したまちづくりを進め、人々が集い・憩い・安らぎを感じる住み続けたいまちを目指します。

戦略指標	内容	基準値	数値目標等（H31）
所沢への定住意向率	市民意識調査での回答率	72.9%（H27）	80%以上
全国住みよさランキング*	東洋経済新報社が公表する順位	408 位（H26）	100 位以内



*所沢ブランド…ブランドは他と比較して優れたものを意味する。多くの自治体が独自の施策や創意工夫を凝らした自治体運営を始める中で、「所沢らしさ」を市内・外へ発信すること。

*全国住みよさランキング…東洋経済が全国の都市を対象に毎年公表している住みよさランキング。

（1）まちの魅力をUP

その1 まちの魅力をさらに高める

人々がふれあい、まちを散策し、余暇や買い物などを楽しめるまちづくりをすることで、にぎわいや景観の面から市の魅力を向上し、経済的な波及効果にもつなげていきます。

中心市街地や東所沢地域の、にぎわいを創出する環境整備をはじめ、各種イベント等による「活気づくり」に力を入れるとともに、文化的なまちづくりといったコンセプトを持った魅力づくりを進めることで、本市のまちの魅力をさらに高めます。

所沢駅周辺のにぎわいを創出する

- 所沢駅周辺を整備し、鉄道路線により隔たりが生じている駅東西の一体化を促進する。

【所沢駅周辺のまちづくり】
 ・ 所沢駅西口地区・日東地区
 ・ 所沢駅東西駅前地区
 （西武鉄道株式会社による所沢駅商業ビル建設計画）



所沢駅西口

- 所沢駅にパスポートセンターを開設する。

中心市街地を元気にする

- 野老澤町造商店*による企画（展示やミニライブ等）を展開する。

- 旧市役所庁舎及び旧文化会館跡地の有効活用について検討する。



ところざわまつり

- 所沢ソラバル*やところざわまつり等のイベントを商工業者と連携して実施する。

COOL JAPAN FOREST 構想で輝く

- 株式会社 KADOKAWA との共同プロジェクトとして、推進会議 TEAM START 等での検討を進め、構想を推進する。

- 「(仮称) ところざわサクラタウン」の竣工に向け、各種調査を実施するとともに市民・地域の事業者等の意見聴取や調整を進める。

- 構想の周知に向けた動画・パンフレット等の作成や啓発事業（講演会等）を実施する。

- 東所沢地域の特徴あるまちづくりに向けた調査・検討を進める。

東京オリンピック・パラリンピックで活気付ける

- 若手職員中心のプロジェクトチームによりイベント等を開催し、市の活性化につなげる。

【各種イベントの一例】

- ・ 職員向け英会話教室やウォーキングの実施
- ・ 小学校での障害者スポーツ体験会の実施
- ・ プレ大会・事前合宿等の誘致（招致用パンフレットの作成）
- ・ 講演会の開催

- 多言語表記による観光案内板やパンフレット等を整備する。

重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
所沢駅の1日平均乗降客数	実績値	95,772人 (H26)	100,000人以上
芸術・文化に触れる機会への満足度	市民意識調査での回答率	41.2% (H27)	45.1%
野老澤町造商店が開催するイベント参加人数	実績値	58,134人 (H26)	63,947人
COOL JAPAN FOREST 構想の認知度	市民意識調査での回答率	41.7% (H28)	80%

* 野老澤町造商店…所沢市中心市街地活性化拠点施設。所沢市の魅力を発信するためのイベントや展示を行う。

* 所沢ソラバル…地域の美味しいお店をハンゴしながら、食べ歩き・飲み歩き・まち歩きをするイベント「街パレ」の所沢版。所沢が航空発祥の地であることから「ソラバル」という名称にしている。

（1）まちの魅力をUP

その2 まちの魅力を発信する

本市の魅力を市内外のさまざまな人々に周知するためには、知ってもらいたい魅力やメッセージを効果的な媒体・方法によって伝えることが重要です。

豊かなみどりやプロスポーツなど、本市の魅力ある地域資源を広報ところざわや市ホームページはもとより、効果的な媒体の有効活用や、ロケーションサービスなどを通じて、市内外の多くの人々に向けて積極的に発信します。

Twitter*や Facebook*、動画配信サービスなどを活用する

- 行政からのタイムリーな情報を Twitter や Facebook を使って情報発信し、各部署の公式アカウントをさらに充実する。
- 本市に関連するさまざまな情報を「とことこ動画」を使って配信する。
- ニコニコ動画や YouTube 等を活用し、世界に向けて情報を発信する。

ロケーションサービス*を充実する

- 市内の観光スポット等におけるテレビ・映画等の撮影を誘致することで本市をPRする。



交通広告等でアピールする

- 西武鉄道の駅や車両等におけるメディア媒体を活用し、インパクトの高いシティセールスを行う。
- 近隣自治体との連携による交通広告を活用する。
- バス等の車両ラッピング*を活用する。



「ところバス」のラッピング

まちの魅力で出会いを生み出す

- 行政が行う安心感を活用し、地域と連携した婚活*事業を定期的に開催する。
- まちの魅力を活かしたイベント等を通じて、人々の出会い交流の機会を提供する。
- Twitter の公式アカウント「所沢市婚活推進事業『出会っとこ!』」で情報発信する。



重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
Facebook (広報課) の充実度	「いいね!」数 月ごとの積上値	945 人 (H28.2 月末時点)	1,000 人以上
観光客数	観光入込客統計調査の年間観光客数	5,590,069 人 (H26)	7,300,000 人
婚活事業におけるカップル成立割合	市の婚活事業における年間平均割合	34% (H26)	35%

* Twitter…「ツイート」と称される 140 文字以内の短文の投稿を共有するウェブ上の情報サービス。
 * Facebook…Facebook, Inc. が運営するインターネット上のソーシャル・ネットワーキング・サービス (SNS)。
 * ロケーションサービス…撮影に伴うロケ地の相談、案内公共施設撮影に関する許認可手続きの協力など、テレビ・映画等の撮影の誘致・協力・支援を行うサービス。
 * 車両ラッピング…バスや電車などの全面を、宣伝内容を印刷したフィルムなどで覆う広告形態。
 * 婚活…「結婚活動」の略。理想の相手を見つけ、幸せな結婚をするためにさまざまな活動を行うこと。

（1）まちの魅力をUP

その3 まちに対して愛着や誇りを持ってもらう

首都近郊の住宅都市として高い利便性を有するとともに、狭山丘陵や武蔵野の雑木林などのふるさとのみどりが残され、自然と都市機能が調和した都市として発展していることが本市の大きな魅力となっています。

こうした市の財産を大切にしながら、人々が健康で心豊かな生活を営むことができるよう、まちごとエコタウン所沢構想の基本理念を踏まえた「自然と共生する」まちづくりを進めるとともに、「人と人、人と自然との絆」につながる、みどりと歴史・文化・芸術等に触れる機会等を通して、本市への愛着や誇りを高めていきます。

みどり豊かな街並みで癒される

- 「みどりのパートナー」や「水辺のサポーター」制度で市民と協働してみどりのまちづくりを行う。
- 「里山保全地域」等の指定を進め、散策路やベンチを整備し、憩いや安らぎを提供する。
- 景観まちづくり（とことこガーデン、とことこ景観資源等）を推進する。
- 街中のみどりを保全・創出する。
- 地域住民のコミュニティや防災の拠点となる街区公園を計画的に配置する。

所沢の「美味しい」を広める

- 農業祭や各種品評会を実施して所沢の農産物をPRする。
- 農産物の収穫体験、料理コンテスト等参加型のイベントを実施し、「所沢の農産物」の美味しさを体感してもらう。
- 市内の専門学校などと連携しながら所沢の農産物を活用したレシピを紹介する。
- ところざわ新茶まつりをはじめとするイベントや海外も視野に入れたPR等により、所沢産狭山茶の消費拡大とブランド力を高める。
- 観光協会と連携し「うどんマップ」等をつくる。

歴史や文化・芸術を学ぶ

- 郷土の自然・歴史・文化等を楽しみながら学ぶ機会を増やし、まちへの誇りを高める。
- 伝統芸能や歴史文化を継承するため、展示・講座・体験学習会を開催する。
- 市民による学習活動やサークル活動を支援する。
- 航空発祥の地*をPRする。

みどり・文化・スポーツを楽しむ

- 所沢航空記念公園で「市民フェスティバル」や「市民文化フェア」を開催する。
- ミュージシャン等の若者文化の創造と発信を支援し、「音楽のあるまちづくり*」を推進する。
- 本市を本拠地とするプロスポーツ「埼玉西武ライオンズ」や「埼玉ブロンコス」を応援する機運を高める。
- 所沢カルチャーパーク*で、キャンプ、収穫体験を楽しめる設備などを整備する。
- 市民が手軽にスポーツを楽しみ、健康長寿になることを支援する。
- 本市の新たな文化芸術振興施策の指針とするため、文化芸術振興ビジョンを策定する。

重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
市の愛着度	市民意識調査での回答率	81.7% (H27)	90%
都市景観や街並みの満足度	市民意識調査での回答率	58.6% (H27)	66.9%以上
新たに確保するみどりの面積	地域制緑地の新規指定・拡大・指定替の総面積	37.77ha (H26)	42ha 以上
都市公園の整備面積	新たに整備した公園の総面積	136.2ha (H26)	147.4ha 以上

*航空発祥の地…明治44年に日本初の飛行場が所沢に開設されたことにより日本の航空発祥の地と言われている。
 *音楽のあるまちづくり…音楽好きなまち・所沢をアピールして、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方々に、うるおいと安らぎを与え、音楽でまちが元気になるよう盛り上げていこうとするプロジェクト。※P34コラム参照
 *所沢カルチャーパーク…雑木林と広大な畑地が広がる武蔵野の景観を残した環境保全や景観保護に留意した公園。

元気

戦略方針
（2）産業の力をUP ↑

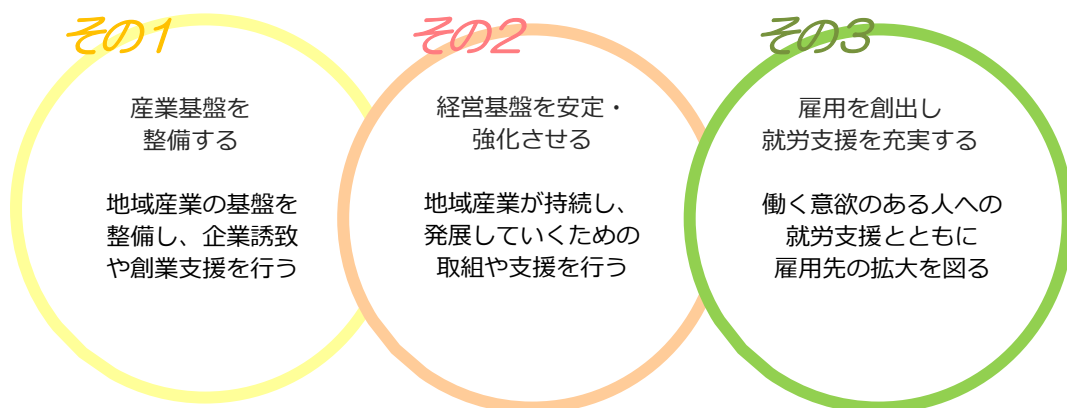
✧ 基本目標 ✧

産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します

都市へのアクセスがしやすい本市は、首都近郊都市として発展してきた一方で、世界に名だたる工業製品を生産する企業も存在しています。

地域の活力の基礎となる、そのような個性豊かで競争力のある企業の発展を支援するとともに、地域で安心して働くことのできる、仕事と家庭の両立がしやすい環境づくりを行います。

戦略指標	内容	基準値	数値目標等（H31）
昼間人口指数*	国勢調査での昼間人口指数	0.86（H22）	0.9（H32）
製造品出荷額	工業統計調査での年間出荷額	1,628 億円（H26）	2,000 億円



* 昼間人口指数…ある地域の昼間の人口。夜間人口に通勤・通学による流入人口と流出人口を加減したものの。

（2）産業の力をUP

その1 産業基盤を整備する

さまざまな事業者が地域に根ざし、地域産業が活性化する基盤を築くためには、多様な主体が事業活動を円滑に推進できる環境を整備することが大切です。

農業従事者の高齢化や後継者不足により増加する遊休農地*の解消に向けた農地の流動化や、企業立地や事業拡張の需要に応えるための立地支援、農・商・工業事業の環境整備を推進します。

地域産業振興の方向性を示す

- 市内事業者に対する調査等により収集した産業振興施策の立案に係る基礎的な情報や調査データに基づき、産業振興ビジョンを策定する。
- 本市圏域における宿泊需要、想定されるターゲット顧客等を調査し、宿泊施設の立地可能性と市の支援策を検証する。



企業の立地を支援する

- 産業系への土地利用転換について、土地利用の現況調査や、都市計画・農林等の関係機関との調整を進める。
- 工場等の新設、移転、拡張に対して、固定資産税、都市計画税相当額を3年間「企業立地支援奨励金」として交付する。
- 工場立地法に基づく地域準則条例の制定により、緑地面積率*等を緩和する。



合理的な土地利用を進める

- 市街化調整区域の地域経済活性化に資する都市的土地利用の転換にあたり、自然環境や地域の特性に応じた線引きの見直しや地区計画等の活用を行う。
- 市街地の低・未利用地*や都市基盤が整備された地区など、多様な市街地の特徴に応じた計画的かつ合理的な土地利用を推進し、用途地域などの適切な見直しを行う。
- 農地中間管理事業や農地サポート事業を活用し、農地の有効利用と流動化を推進するとともに遊休農地の解消を図る。

地域産業を生み出す

- 産業競争力強化法による認定を受けた創業支援事業計画に基づき、新たなビジネスに挑戦しようとする人を支援する。
- 新規創業ビジネスプランコンペを実施する。
- 開業ゼミナールや個別相談会等を所沢商工会議所と連携して開催する。
- 空き店舗出店費用補助や新商品開発費用補助、新規創業支援融資などにより資金面での支援を行う。
- 地場農産物等を活かした特産品の創出を支援する。

重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
農地サポート事業の実績	実績値	2.5ha (H26)	毎年度 2ha の流動化
製造業事業所数(従業者数 4人以上の事業所)	工業統計調査での事業所数	259 (H26)	260(H30)

* 遊休農地…現に耕作の目的に供されず、かつ、引続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地等のこと。
 * 緑地面積率…工場の敷地に占める緑地の割合。
 * 低・未利用地…長期間にわたり利用されていない未利用地（空き地、空き家、耕作放棄地など）と周辺地域の利用状況に比べて利用の程度が低い低利用地（資材置き場や青空駐車場）。

（2）産業の力をUP

その2 経営基盤を安定・強化させる

事業者の経営基盤を強化し、経営改革が進められる環境整備を行うとともに、事業者が創意工夫をこらし、これまでにない革新的な経営を積極的に推し進めていけるよう、新たな需要の拡大や販路開拓、地域の特性や資源を活かした産業の育成支援を行います。

また、低利の融資のあっ旋や経営相談・経営セミナーを実施して中小企業の経営を支援するとともに、新規就農や法人の農業参入を支援します。

事業者を支援する

- 低利率の「中小企業融資制度」により資金面から経営を支援する。
- 事業発展を目指す事業者を支援するため、設備投資の融資（埼玉県・株式会社日本政策金融公庫）にかかる支払利子の一部を補給する。
- 市内事業者の経営向上に役立つメールマガジンを配信する。



商業経営者を応援する

- 大学や金融機関と連携し、市内の消費者の買物行動実態や満足度等を調査することで商業振興に役立てる。
- プレミアム付ところざわ商品券の発行等により、地域経済と商店街の活性化を図る。
- 新たな展望を切り開く市内商業経営者を育成するため、経営手法の開発、販路開拓、経営改善、商品開発その他商業の発展を目的とする調査等の研究活動費を支援する。

農業経営をサポートする

- 農業経営の法人化や農業生産法人等の規模拡大に対し、農地の賃借料の一部を補助する。
- 新規就農者に対して、農地の賃借や農業機械導入の一部を補助し、初期投資の費用負担軽減や経営の早期安定化を図る。
- 直売所や学校給食で地産地消*事業を推進する。
- 認定農業者*や農業後継者の機械や施設の導入にかかる経費の一部を補助し、経営改善を支援する。



農・商・工業者が連携する

- 農商工連携による商品開発等を支援するため、新商品の開発や販路開拓等にかかる費用の一部を補助する。
- 農業者、飲食店業者、食品加工業者の情報交換・ビジネスマッチングの機会として「農商工連携のためのきっかけづくり交流会」を開催する。



きっかけづくり交流会

重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
事業所あたりの償却資産課税標準額	直近3か年の平均値	12,821,000円 (H26)	15,000,000円
市内小売業の年間商品販売額	経済センサス調査 (5年毎統計)	2,574億円 (H26)	2,800億円

* 地産地消…その地域でつくられた農畜産物・水産物を、その地域で消費すること。また、その考え方や運動。
 * 認定農業者…農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画を市町村が認定し、これらの認定を受けた農業者のこと。

（2）産業の力をUP

その3 雇用を創出し、就労支援を充実する

就労支援を必要としている人たちに対して雇用情報の提供や就労チャレンジ支援事業などを実施し、就職希望者が円滑に就業できるよう支援するとともに、市民の雇用の場の確保と安心して働くことのできる環境を整備します。

魅力的な雇用先の創出を進める

- 大規模事業所の進出による雇用の創出を図る。
- 産業系への土地利用転換について、土地利用の現況調査や、都市計画・農林等の関係機関との調整を進める。(再掲)
- 工場等の新設、移転、拡張に対して、固定資産税、都市計画税相当額を3年間「企業立地支援奨励金」として交付する。(再掲)



国や県等と一緒に就労を支援する

- 就職活動を支援する「セカンドキャリアセンター所沢」を県と共同で実施し、女性・若者・中高年・シニア等の就職を支援する。
- 就労チャレンジ支援事業により、若年層を対象（44歳以下）とする就職面接会「若年者就職応援フェア」を定期的実施する。
- 就労チャレンジ支援事業により、生活困窮者を対象として、ハローワークの就労支援員による職業相談や職業紹介などを行う。

市民の雇用を促進する

- 工場等の立地又は特例子会社*の設立にあたり、新たに市民を雇用した場合に雇用促進奨励金*を交付する。その枠を超えて障害者を雇用した場合には追加の奨励金を交付する。
- 新たに障害者雇用に取り組む事業所を支援するため、施設改修にかかる費用や賃金の一部を補助する。



女性の就労につなげる

- 企業内保育を有する事業所等を周知する。
- 企業における女性の職場での活躍の推進にかかる行動計画の策定を促し、女性の活躍の場を広げる。
- 就労に向けた講座を開催する。



重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
就労チャレンジ支援事業による就職者数	実績値	193人 (H26)	毎年度、新規就職者175人以上
中小企業退職金共済掛金等の補助制度の新規利用事業主数	実績値	23事業主 (H26)	毎年度16事業主の新規利用
製造業従業者数(従業者数4人以上の事業所)	工業統計調査での従業者数	8,427人 (H26)	9,000人(H30)
若年層人口に占める転出数の割合	25~29歳人口に占める年間転出数	14.2% (H27)	10%

* 特例子会社…障害者の雇用に特別な配慮と一定の要件を満たした上で、厚生労働大臣の認可を受けて、障害者雇用の算定において親会社の一事業所と見なされる子会社。

* 雇用促進奨励金…工場等の立地又は特例子会社の設立にあたり、新たに市民を雇用した場合に事業者に交付する奨励金。

安心

戦略方針 (3) みんなの安心をUP

✧ 基本目標 ✧

すべての子どもたちが尊重され、
たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

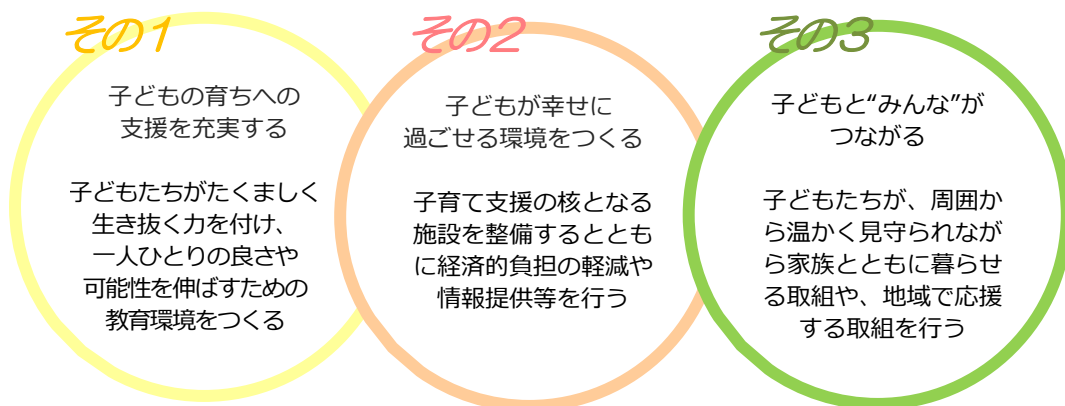
核家族化の進行や地域のつながりが希薄化する中で、人への優しさや思いやり、家族の絆を深めることが必要です。

市の宝である子どもたちが健やかに育つためには、子育てについての第一義的な責任を有する保護者が、安心して子育てができ、子育てに喜びや生きがいを感じることができる環境の整備を行うとともに、家庭・事業者・行政はもとより、すべての市民が「市の宝」である子どもたちの幸せを願い協力し合える、地域・社会全体の仕組みづくりに努めます。

そして、子どもたちが変化の激しい社会を生き抜くために、確かな学力と豊かな心、健やかな体を育成することができる教育環境を創り、「学ぶなら所沢」といわれるまちを目指します。

戦略指標	内容	基準値	数値目標等 (H31)
30～40 歳代の 転出入均衡	人口動態統計に 基づく算定値	-181 人 (H26)	0 人

※値：転入数－転出数



（3）みんなの安心をUP

その1 子どもの育ちへの支援を充実する

子どもたちが健やかに育ち変化の激しい社会に対応するためには、たくましく生き抜いていく力を育てることが必要になります。そのために幼児期における教育・保育、学童期における学校教育や放課後対策を充実させるとともに、学校・家庭・地域社会が連携し、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育成します。

また、大学等との連携や教育ネットワークの効果的な活用、研修機会の充実により、教育力の向上を図ります。

教育力を上げ、学力・体力を伸ばす

- 大学等と連携した先進的な研究や研修により、教師の専門性を高め、指導力を向上する。
- 「地域のちから」による学校のさまざまな教育活動のサポートに努める。
- 小中学校に講師や支援員、学校司書等を配置し、きめ細かな支援を行う。
- プロスポーツや大学等と連携した運動教室を行う。
- 児童生徒体力向上推進委員会を支援する。

教育環境を充実する

- 小中高一貫などの特色ある私立学校を誘致し、市内の教育環境をさらに充実する。
- コンピュータやネットワーク環境等の教育環境整備を進め、教育ネットワークの活用によるICT*教育を推進する。
- 不登校児童生徒が、安心して登校できるよう支援体制を充実する。
- 自然体験や職業体験、地域との関わりをもつ機会を増やし、教育機会の充実を図る。

幼稚園や保育園を充実する

- 所沢市子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼稚園や保育園等の施設整備を進める。
- 保育士・幼稚園教諭の両資格取得や保育士の処遇改善・研修の支援を行い、資格者のスキルをさらに向上する。
- 保育園に高木の植樹を行い、木陰を増やす。
- 保育士の確保に向け、市内民間保育所等の保育士等合同説明会などの支援策に取り組む。

児童の放課後対策を向上する

- 施設の老朽化と大規模化、狭あい化解消のため、新築・建替えを進めつつ、改善策として民設民営児童クラブを導入する。
- 小学生の放課後対策を効果的・効率的に行うため、放課後児童対策一体運営事業の拡大に努める。



重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
児童クラブ施設及びサービス等保育環境に係る満足度	アンケート調査で「満足」と回答した割合 (第2所沢児童クラブ)	41.5% (H27)	55%
授業がわかりやすいと思う児童・生徒の割合	児童生徒継続調査での回答率	90% (H26)	現状値以上
新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る割合	新体力テスト14項目のうち、市の平均が全国平均を上回った割合	51.4% (H25)	57.4%

*ICT…コンピュータなどの情報技術及びインターネットなどの通信に関する技術をあわせた形のこと。情報通信技術という。

(3) みんなの安心をUP

その2 子どもが幸せに過ごせる環境をつくる

平成29年1月にオープンする「所沢市こどもと福祉の未来館」には、地域の中で子どもたちが健やかに成長できるよう、子育てを支援する施設として「こども支援センター」を開設し、子育て中の親子の交流や子育て関連情報の提供をする他、育成や子どもの発達に関する相談や支援を行います。

また、経済的な面で不安を抱えている家庭への支援、妊産婦や子育て中の親が必要としている情報提供を充実することで、子どもが幸せに過ごせる環境づくりを進めます。

「所沢市こどもと福祉の未来館」をオープンする

- 子育て支援と発達支援の機能を併せ持つ、「所沢市こども支援センター」を開設する。
- 4歳未満の乳幼児を持つ親と子がふれあえる「広場」を設置する。
- 子育てコンシェルジュ*（利用者支援事業）を設置し、子育てに関する疑問などを気軽に相談できる環境をつくる。
- 発達障害等に関する相談と早期支援を行う。

経済的な不安を軽減する

- 多子世帯（第2子以降対象）や低所得世帯に対して、児童クラブ及び児童館生活クラブの利用料を減額・免除する。
- 幼稚園就園奨励費の支給、小・中学校の就学援助、高校生への奨学金の給付、高校・大学等の入学準備金の貸付を行う。
- 生活困窮家庭の子どもを対象とした学習支援事業により、日常的な学習や進学へ向けたサポートを行う。

HOT な情報を届ける

- 子育てを応援する行政サービスガイド「ママフレ」を活用し、さまざまな情報を提供する。
- ところっこ子育てガイドを作成し、本市が行っている支援制度などを紹介する。



子どもが育つ環境に応じて必要な支援を行う

- 安心して育児休業を取得できるように、元の保育園に戻るようにする。また、元の園からの声掛けや一時預かり事業*等で育児休業中の家庭をサポートする。
- 児童発達支援センター松原学園で、地域で暮らす障害児の家庭や関係機関への支援を行う。



重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
所沢市こども支援センターの利用者数	実績値	*** (H28年度竣工)	64,000人
児童クラブ及び児童館生活クラブ利用料の助成件数	多子世帯児童と低所得世帯児童の実績値合計	578件 (H27.4)	480件

* 子育てコンシェルジュ…就学前の子ども預け先に関する保護者の相談に応じ、認可保育所のほか、保育室や一時預かり事業、幼稚園預かり保育などの保育サービス等について情報提供をする窓口のこと。

* 一時預かり事業…保護者の就労や病気・出産・冠婚葬祭等の緊急時に、家庭での保育が一時的に困難な場合に保育園で預かる事業。

（3）みんなの安心をUP

その3 子どもと“みんな”がつながる

子どもたちが、周囲から温かく見守られながら、家族とともに健やかにのびのびと暮らせるよう、三世代同居や近居政策の推進や、ワークライフバランス*につながる取組を推奨するとともに、地域で子育てを応援する取組を進めます。

また、各家庭で、妊娠・出産・育児での不安を抱え込まずに過ごせるよう、高齢者をはじめとする地域のさまざまな人たちによる支援体制の充実等を図り、人との絆や地域とのつながりを築きながら、子育てに喜びや生きがいを感じることができるまちを目指します。

三世代同居や近居施策を行う

- 三世代同居や近居の優遇策をさらに進める。
- 三世代同居等リフォーム資金を補助する。
- 三世代同居世帯用プレミアム付ところざわ商品券を販売する。
- 勤労者の三世代同居リフォーム資金融資に対する利子を補給する。
- 祖父母等を対象とする子育て講座を行う。



親子と一緒に過ごす時間を大切にする

- 「ところっこ・親子で楽しむ運動遊び」を定期的に開催する。
- 料理コンテストや収穫体験など、親子を対象とするイベントを充実する。
- 市役所でのワークライフバランスデーの取組を通して企業等での実施を勧奨するとともに、講演会等を通して仕事と家庭の両立への意識の浸透を図る。



出産と育児をサポートする

- 妊婦健診により疾病等を早期発見するとともに、精神面や経済面において不安を持つ妊婦の早期での把握を行うなど支援体制の充実を図る。
- 産婦の健康管理や乳児の健全育成に対して保健指導などの支援を行うとともに、妊娠期からの支援も継続して行う。
- 育児や子育てをテーマにした講演会を開催する。

地域全体で子育てを応援する

- 地域の保育園や児童館にある「地域子育て支援センター」で、乳幼児と保護者の居場所を提供するとともに、仲間との出会いにつなげる。
- 養育支援が特に必要な家庭を訪問し、育児・家事援助、相談支援等を助産師や保育士ホームヘルパーが中心となって行う。



重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値	数値目標等 (H31)
妊婦健康診査の受診率	実績値	99% (H26)	100%
地域子育て支援拠点施設の利用者数	実績値	178,659人 (H26)	260,000人

*ワークライフバランス…仕事と生活の調和のことであり、一人ひとりが仕事や家庭生活、余暇、地域生活などをバランスよく行うことにより、人生の各段階において、豊かで充実した生活を無理なく送ることができること。

安心

戦略方針 （4）暮らしやすさをUP

✧ 基本目標 ✧

安心・安全で暮らしやすく、
市民に快適な生活を提供できるまちを目指します

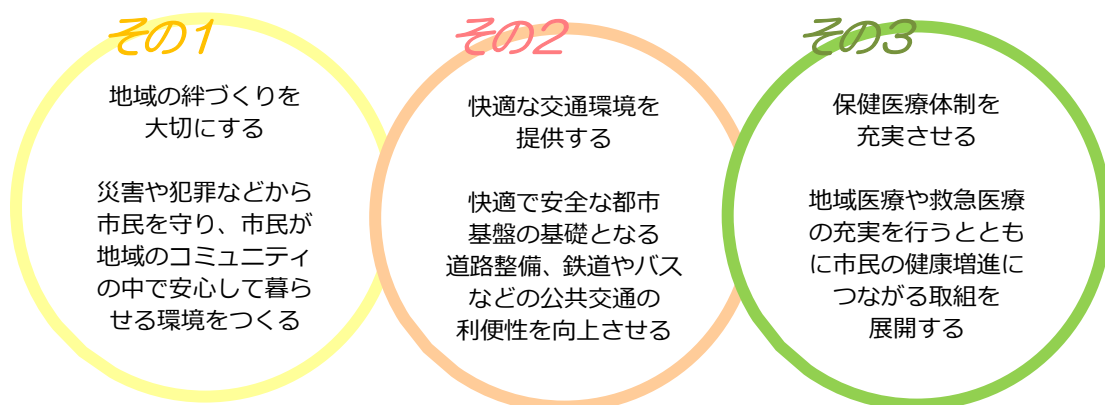
震災や異常気象といった被害により、地域の安全に対する意識が変化するとともに、安心で安全なまちが求められています。

人と人が絆を紡ぎ、助け合いの心を育むことができるよう、コミュニティや住民活動を支援しながら、防災力・防犯力・地域力の強いまちを目指します。

また、人と環境に優しく、安全・円滑・効率的な道路・交通機能の確保と向上を目指すとともに、良好な住環境を形成し、市民の暮らしやすさの向上に努めます。

さらに、必要なときに必要な医療を受けられるよう、医療体制の充実を図ります。

戦略指標	内容	基準値（H27）	数値目標等（H31）
居住環境の満足度	市民意識調査での回答率	62.2%（H27）	66%以上
地域のつながりの強さ （5年程度前との比較）	市民意識調査での回答率	11.6%（H27）	20%以上



（４）暮らしやすさをUP

その１ 地域の絆づくりを大切にする

地域の課題に住民が主体的に対応し、人と人とのつながりを育み、地域団体の連携・協力などができる環境が必要です。地域で人々が安心して日々の生活を送るために、市と地域が一体となって防災対策や自主防災組織の強化、防犯対策などを行います。

また、「自治会・町内会」への加入・参加の促進に加え、地域を担う人材の育成やコミュニティ活動の拠点整備といった市民の自主的・自立的なコミュニティ活動を支援します。

災害に備える

- 防災行政無線や全国瞬時警報システム*の運用、エリアメール*の配信など、災害時の情報伝達手段の拡充を図る。
- 防災備蓄倉庫の増設や備蓄品の充実、避難行動要支援者名簿作成などの災害対策を推進する。
- 昭和56年5月以前の建築物の耐震診断や改修費用を補助し、災害に強い住環境の整備を促進する。



犯罪を抑える

- 防犯講座の開催や地域へのパトロール資器材の貸し出し、警察・防犯協会等各署関係団体との連携による街頭キャンペーン等を実施する。
- 広報ところざわ、市ホームページ、ところざわほっとメール等により防犯情報を発信する。
- 市民ボランティア「わんわんパトロール」の登録を増やすなど地域の犯罪抑止力を高める。



防犯パトロール資器材（一例）

自主的なコミュニティ活動をバックアップする

- 「所沢市地域コミュニティ推進プラン」に基づき、地域づくり協議会の全ての地区での設立を促し、住民自治活動の自立を支援する。
- 自助・共助・公助が連携して地域の特性に合った避難行動支援の仕組みを構築する。
- 集団資源回収への支援を充実させる。



人と人がつながるステージを充実する

- 市民活動支援システム「トコロん Web」等により、多様な市民活動の機会を提供する。
- 集会所等の施設整備等に対する補助を行う。
- 高齢者や障害者、子どもなどが共生する施設を検討する。



市民による清掃活動

重要業績評価指標 (KPI)	内容	基準値 (H27)	数値目標等 (H31)
自主防災組織数	実績値	201 組織 (H26)	214 組織
犯罪発生件数	実績値	3,841 件 (H26)	3,122 件
地域活動への関心度	市民意識調査での回答率	46.7%	55.0%以上
地域活動への協力意向	市民意識調査での回答率	53.5%	65.0%以上

* 全国瞬時警報システム…消防庁からの発信された武力攻撃事態等に関する国民保護情報や、気象庁が発表する緊急地震速報などを、市の防災行政無線屋外スピーカーからサイレンと音声により放送するシステム。

* エリアメール…NTTドコモにより、気象庁が配信する緊急地震速報や、国・地方公共団体が発する災害・避難情報などを携帯電話に一斉に同報配信するもの。

（４）暮らしやすさをUP

その２ 快適な交通環境を提供する

快適で住みやすいまちづくりの基礎となる部分には、安全な都市基盤となる広域的道路網、生活道路、自転車・歩行者空間の整備が重要であり、主要幹線道路網や、緊急車両の進入路となる生活道路の整備を図るとともに、ユニバーサルデザイン*に配慮した安心・安全な歩道の整備などを進め、交通渋滞の解消、出かけやすさの向上に努めます。

また、地域のニーズを踏まえた公共交通の利便性の向上に努めます。

地下鉄を誘致する

- 東所沢駅への都市高速鉄道 12 号線の延伸に向け、延伸促進協議会（新座市・清瀬市・所沢市・練馬区）による積極的な要望活動を行う。
- 東所沢地区のまちづくりを進め、都市高速鉄道 12 号線延伸促進の機運を高める。



道路計画を推進する

- 計画道路（北野下富線、松葉道北岩岡線、東京狭山線、飯能所沢線等）の建設を進め、慢性的な渋滞を解消する。
- 歩道（愛称：ハナミズキ通り）の整備や狭あい道路の拡幅、交差点の改良を行い、安全を確保する。
- 道路照明灯を LED 化し、消費電力の削減を図りながら、歩行者、自転車及び車両の夜間交通の安全を確保する。

公共交通の利便性を上げる

- 地域公共交通会議を設置し、バスやタクシー等の身近な交通手段について検討する。
- 西所沢駅の利便性向上と交通混雑緩和のため、西口改札口を開設するとともに送迎専用転回広場を整備する。
- 鉄道の利便性向上のため、埼玉県や他の自治体と連携して、乗り入れなどの鉄道整備要望を行う。



東西連絡道路を整備する

- 米軍所沢通信基地を東西に貫く「東西連絡道路用地」の返還合意に基づき、東西連絡道路の開通に向け、設計及び工事を行う。



東西連絡道路

重要業績評価指標（KPI）	内容	基準値	数値目標等（H31）
都市計画道路の整備状況	実績値	69%（H27）	72%
規格改良済車道延長	実績値	532 km（H26）	538 km（H30）
東西連絡道路の整備	実績値	実施設計（H27）	開通
交通事故（人身事故）発生件数（概数）	市内における交通事故（人身事故）件数の概数	1,422 件（H26）	基準値未滿

*ユニバーサルデザイン…「基本的人権の尊重」を基本理念として、障害の有無、年齢、性別、国籍、人種などにかかわらず、すべての人が心豊かに暮らせるような社会をつくっていくこととする考え方のこと。

（４）暮らしやすさをUP

その３ 保健医療体制を充実する

市民が病気にかかったときや急病時などの対応に不安を抱くことなく、日々の暮らしを安心して過ごすためには、日常的な地域の医療サービスが充実し、夜間・休日診療をはじめとする救急医療体制が確保されていることが不可欠です。そこで、市内の公益法人等が開設した病院に対して補助を行うなど、救急医療体制の充実に向けた支援を行うとともに、市民医療センターにおいては公立病院としてのその役割や機能を向上させます。

また、市民が心身ともに健康で安心して生活できるように、疾病予防や健康増進事業、各種相談事業、市民の理解や知識を高めるための周知・啓発事業などの充実を図ります。

必要な医療を提供する

- 市民医療センターが実施している小児急患診療を中心に、市内の関係医療機関と連携して市内全体における全ての時間帯での小児初期救急医療体制を確保する。
- 市民医療センターにおいて、地域の医療機関等と連携した患者の受け入れを行い、地域で継続性のある適正な医療を提供する。
- 歯科診療所「あおぞら」で在宅要介護高齢者や障害児者の診療や休日緊急診療を行う。

救急医療体制を充実する

- 救急医療などの不採算医療*の機能を担う公益法人等が開設した病院に対して運営費の一部を補助し、安定的な救急医療の提供を図る。
- 所沢市、狭山市、入間市の3市で構成する所沢地区第二次救急医療圏内の病院と連携し、輪番制による休日・夜間の重症救急患者の受け入れを充実する。



市民の健康づくりを支える

- けんこう健幸マイレージの仕組み（歩くことを心がけるなど健康づくりへの取組にポイントを付与）をつくり、市民の健康づくりを応援し、健康寿命の延伸を図る。
- 「健康ガイドとこころざわ（がん検診申し込みはがき付）」を全戸配布し、各種予防接種やがん検診の受診を勧奨する。



悩みごとに対応する

- 保健センター「こころの健康支援室」にて精神保健福祉士や保健師が相談対応するとともに、精神科医による思春期のこころの健康相談等を実施する。
- 生活上の困りごとや悩みごとについて人権擁護委員*と解決方法を考える「暮らしの中の悩みごと相談」を開催する。



重要業績評価指標（KPI）	内容	基準値	数値目標等（H31）
「所沢市保健医療計画」の策定・推進	計画の進捗状況	策定（H27）	推進
健康寿命の順位	埼玉県内の順位	男 4位 女 16位（H25）	男 1位 女 1位
健幸マイレージ事業参加者の満足度	アンケートの数値（H28以降実施）	***	80%以上
健幸マイレージ事業参加者の医療費抑制額	参加者の1年間の抑制額	0円（H27）	28,000,000円
こころの健康講座等の参加者数	実績値	2,260人（H26）	2,700人

* 不採算医療…収入よりも支出が多く、採算がとれない医療行為。

* 人権擁護委員…地域の人々から人権相談を受け、問題解決の手伝いや法務局の職員と協力して人権侵害による被害者の救済を行う。

✧ 所沢の魅力「文化」のコラム ✧

音楽のあるまちづくり

本市は「音楽の盛んなまち」です。市内の音楽スポットや、航空記念公園の芝生や木陰で、音楽を楽しむ風景があります。

「音楽のあるまちづくり」(通称「音まち」)は、音楽好きなまち・所沢をアピールして、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方々に、うるおいと安らぎを与え、音楽でまちが元気になるよう盛り上げていこう、というプロジェクトです。

市役所市民ホールでの音まちコンサート、まちなかコンサートなど、さまざまな会場で、無料コンサートを楽しんでいただいています。

また、「音まち」にふさわしい音楽イベント等を、市として推奨する制度があります。推奨されると、チラシ・ポスターに「音まちロゴマーク」をつけてPRすることができます。

さらに、“生”の音楽が体感できる、選りすぐりのスポットを紹介した「音まちMAP」をつくり、気軽に音楽を楽しむためのガイドマップとして無料配布しています。



まちなかコンサート
(出演者：市原マサヒロさん)



音まちロゴマーク



「みんなのアイデアコンテスト」で
最優秀賞を受賞した桜井紀乃さん

音楽室から とびだした 楽器とつくる町

平成 27 年度「みんなのアイデア・コンテスト」で最優秀賞を受賞した提案です。

オルゴールの鳴る水車、トライアングルボラード(車止め)、木琴橋など、楽器たちがまちの景観を演出し、楽しげな音が風に乗って聞こえてきそうな素敵なアイデアです。

コンテストで表彰された提案は、市の事業として実施に向けた検討を行っています。

4.資料

- 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「第5次所沢市総合計画後期基本計画」との関連性
- 「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針



国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び 「第5次所沢市総合計画後期基本計画」との関連性

戦略方針 1. まちの魅力をUP

【基本目標】所沢市の魅力を高め、住みたいまち、訪れたいまちを目指します

- 関連する国の政策分野 地方への新しいひとの流れをつくる
- 関連する「第5次所沢市総合計画後期基本計画」
- 【総合的に取り組む重点課題】 3 人と自然が共生するまち“エコタウン所沢”の実現
4 所沢ブランドの推進とまちの活性化
- 【まちづくりの目標】 第4章 教育・文化・スポーツ 第5章 産業・経済
第6章 環境・自然 第7章 街づくり
第8章 行財政運営

戦略方針 2. 産業の力をUP

【基本目標】産業や雇用を創出し、就業者数の増加を目指します

- 関連する国の政策分野 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする
- 関連する「第5次所沢市総合計画後期基本計画」
- 【総合的に取り組む重点課題】 4 所沢ブランドの推進とまちの活性化
- 【まちづくりの目標】 第1章 コミュニティ 第5章 産業・経済

戦略方針 3. みんなの安心をUP

【基本目標】すべての子どもたちが尊重され、
たくましく健やかに成長できるような環境を整備します

- 関連する国の政策分野 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 関連する「第5次所沢市総合計画後期基本計画」
- 【総合的に取り組む重点課題】 2 子どもを大切にすまちづくり
- 【まちづくりの目標】 第3章 健康・福祉 第4章 教育・文化・スポーツ

戦略方針 4. 暮らしやすさをUP

【基本目標】安心・安全で暮らしやすく、市民に快適な生活を提供できるまちを目指します

- 関連する国の政策分野 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する
- 関連する「第5次所沢市総合計画後期基本計画」
- 【総合的に取り組む重点課題】 1 絆を紡ぐまちづくり
- 【まちづくりの目標】 第1章 コミュニティ 第2章 安心・安全
第3章 健康・福祉 第7章 街づくり

「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定方針

1 「地方版総合戦略」策定の目的

国が制定した「まち・ひと・しごと創生法」を受け、潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保、地域における魅力ある多様な就業の機会の創出について一体的に推進することを目的とし、平成27年度からの5年間を期間とする基本目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめた「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「地方版総合戦略」という。）を策定します。

2 策定に対する基本的な考え方

（1）地域の特性に即した戦略づくり

「地方版総合戦略」の策定にあたっては、人口の現状や将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」を策定し、そのビジョンに基づく客観的な分析により課題を把握するとともに、地域の実情に沿った地域性のあるものとするのが重要であることから、本市の特色や地域資源を活かしつつ、圏域との調整を図りながら、市民に身近な施策を幅広く盛り込んだ戦略づくりとします。

（2）国・県の総合戦略、総合計画との関係性

「地方版総合戦略」は、国・県が策定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案して策定します。

また、平成27年度からの4年間を計画期間とする「第5次所沢市総合計画後期基本計画」との整合性を図りながら、今後5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策等を示すものとします。

（3）幅広い視野での策定

まち・ひと・しごと創生を効果的・効率的に推進していくため、関係団体や民間事業者等の参加や協力が重要であることから、「地方版総合戦略」の方向性や素案の検討にあたっては、産官学等の関係者の意見が反映されるとともに、ワークショップやパブリックコメント手続等により、広く市民の意見を聴取するよう努めます。

3 策定体制

(1) 庁内組織

■ 所沢市総合戦略策定本部

まち・ひと・しごと創生に全庁横断的に取り組むため、副市長を本部長として各部長等で組織する本部により、策定過程における重要事項を協議するとともに「地方版総合戦略」全般にわたる意思決定を行います。

■ 総合戦略庁内策定会議（実施計画調整会議）

所沢市総合計画の実施計画の策定に関する総合調整を行う実施計画調整会議（経営企画部長、総務部長、財務部長、経営企画部経営企画課担任次長、総務部文書行政課担任次長、財務部財政課担任次長で構成）により組織する会議で、下記の「総合戦略策定プロジェクトチーム」がまとめた素案について、検討・助言を行います。

■ 総合戦略策定プロジェクトチーム

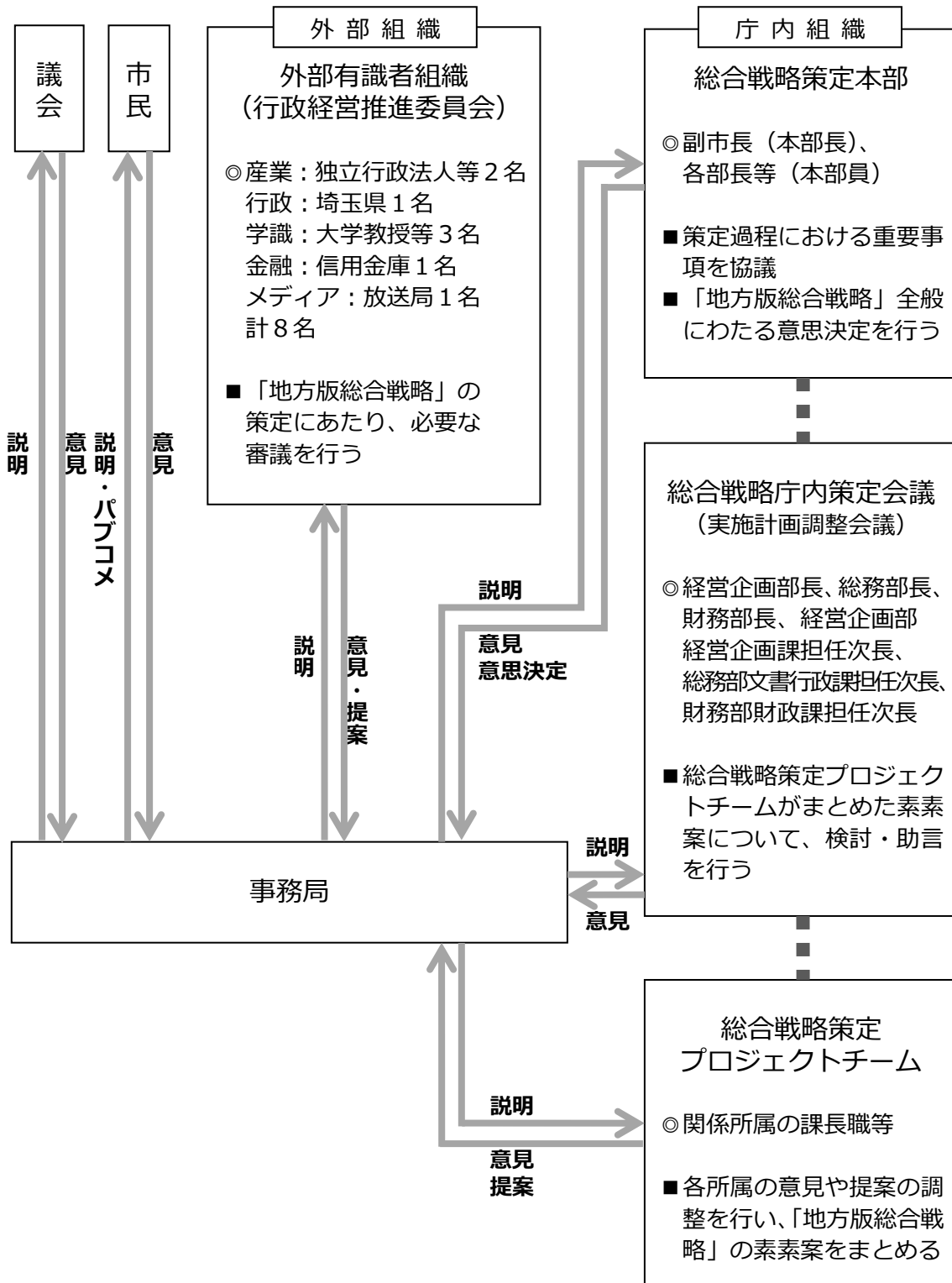
まち・ひと・しごと創生に関係する所属の職員により組織するプロジェクトチームで、各所属の意見や提案の調整を行い、「地方版総合戦略」の素案をまとめます。

(2) 外部組織

■ 外部有識者組織（行政経営推進委員会）

所沢市行政経営推進委員会条例により設置する審議会で、委員は知識経験を有する者、その他市長が必要と認める者の計8人以内で構成します。委員会は「地方版総合戦略」の策定にあたり、必要な審議を行います。

策定体制図



外部有識者会議（所沢市行政経営推進委員会 第6期）

H27.3.30～

No.	所属・職名	氏名（五十音順）
1	淑徳大学 コミュニティ政策学部教授	石川 久
2	早稲田大学 人間科学学術院教授	植村 尚史
3	F M茶笛（チャッピー）パーソナリティ	大島 千代美
4	公認会計士	加藤 且行
5	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 業務統括役	河上 高廣
6	埼玉県企画財政部 西部地域振興センター	瀧澤 幸子
7	日本大学 芸術学部教授	中町 綾子
8	飯能信用金庫所沢支店 支店長	山下 恒夫

所沢市総合戦略策定本部

H27.3.23～

H27.4.1～

No.	所属・職名	氏名	氏名
1	副市長	大館 勉	大館 勉
2	秘書担当理事	石井 勝彦	石井 勝彦
3	経営企画部長	中村 俊明	桑原 茂
4	総務部長	能登 則之	高橋 巳喜次
5	総務部危機管理監	吉岐 英昭	石川 幸一
6	財務部長	三上 昌美	三上 昌美
7	市民部長	溝井 久男	鈴木 康人
8	福祉部長	本橋 則子	本橋 則子
9	こども未来部長	仲 志津江	本田 静香
10	健康推進部長	坂本 博典	坂本 博典
11	環境クリーン部長	桑原 茂	越阪部 孝夫
12	産業経済部長	守谷 照雄	村松 由朗
13	街づくり計画部長	小山 一	糟谷 守
14	建設部長	高橋 巳喜次	溝井 久男
15	会計管理者	山崎 裕司	山崎 裕司
16	議会事務局長	村上 光利	村上 光利
17	市民医療センター長	藤塚 聡	藤塚 聡
18	市民医療センター事務部長	加藤 勝男	加藤 勝男
19	上下水道部長	北田 克	北田 克
20	教育総務部長	平野 澄彦	美甘 寿規
21	学校教育部長	川音 孝夫	山口 勝彦

総合戦略庁内推進会議（総合計画実施計画調整会議）

H27.4.1～

No.	所属・職名	氏名
1	経営企画部長	桑原 茂
2	総務部長	高橋 巳喜次
3	財務部長	三上 昌美
4	経営企画部次長	平田 仁
5	総務部次長	根本 壽嗣
6	財務部次長	駒井 三千男

総合戦略策定プロジェクトチーム

H27.4.1～

No.	所属・職名	氏名
1	経営企画部 企画総務課 主幹	内野 孝雄
2	経営企画部 経営企画課 主幹	平栗 正之
3	総務部 危機管理課長	佐々木 厚
4	財務部 財政課長	林 誠
5	こども未来部 こども政策課長	岸 克実
6	健康推進部 健康づくり支援課長	淵江 弘行
7	環境クリーン部 みどり自然担当参事	関谷 佳和
8	産業経済部 産業振興課長	畑中 武
9	産業経済部 商業観光課長	柳田 晃芳
10	街づくり計画部 都市計画課長	埜澤 好美

事務局

H27.3.23～

H27.4.1～

No.	所属・職名	氏名	氏名
1	経営企画部 経営企画課長	鈴木 哲也	鈴木 哲也
2	経営企画部 経営企画課 主幹	川上 一人	市川 勝也
3	経営企画部 経営企画課 主査	大出 久美	大出 久美
4	経営企画部 経営企画課 主任	溝井 麻美	溝井 麻美
5	経営企画部 経営企画課 主任	岩本 和幸	岩本 和幸

※H27.3.31までは「政策企画課」

平成 28 年 3 月発行

平成 29 年 3 月一部改定

発行 所 沢 市

企画・編集 経営企画部 経営企画課

〒359-8501 所沢市並木一丁目 1 番地の 1

TEL : 04-2998-9027 / FAX : 04-2994-0706

E-mail : a9027@city.tokorozawa.lg.jp

